

# アラウンド GOGO 55



## 30年前、教員になった

### 私の原点 高橋小夜子

まじめな話から。私が教員になったのは1979年です。

どんな障害の重い子ども学校教育を受けられるようになった、全国全員就学の記念すべき年です（たぶん梓がぐんと広がり、私のような教育学部出ではない日福大出身者でも新潟で教員になれたのだと思います）。

初めての赴任先は、動く重度重複障害児の施設内訪問教育でした。わけがわからないままの養護学校の教員としてのスタートでした。

初年度は施設の意向を汲んで週2回のお風呂介助があり

ました。子どもはさっぱりいうことをきかず、授業にお手

伝いに入ってくださる施設の保育士さんのいうことは聞いて、泣きたい日々の連続でした。教室用の部屋を飾りつけると全部子どもにはがされ、保育士さんからは「破るからやめたほうがいいですよ」と簡単に言われ、ため息でした。

そんな不就学児と保護者、そして施設職員との出会いの中で気が付けば「みんなのねがい」読者会サークルを作っていて、施設の先生方とさまざまな苦しい現状を語り合いました。今思っても好奇の目

で見られた存在だったのに行動的だったなと思いました。

子どもたちにもっと発達のな取り組みをしたいと願う職員との出会いがありました。それが現在につながるのかなと考えています。

障害の重い子ども等しく発達の道をたどるという田中昌人氏の本を紐解きながら実践し、違うな〜とか、何が悪いんだらうとか、でも子どもたちの笑顔や私の手につかまってくれ遊びをしてと「なべなべ」と要求が出てきたときには飛び上がりたいほどうれしかったです。

あれから30年、すっかり私は重症児教育にはまっています。もの言えない子どもたちと呼吸やまなざしでびたつきたときの心地よさ、若い先生方にも味わってほしいなと願ってやみません。

\*

趣味は山登りです。昨年は八甲田山へ、今年には岩手の早池峰山へ、少しバテてしまったのが残念でした。北海道の大会の後、黒岳から朝日岳を一周してきました。山はいいですね、自分の力を信じて自然の中に身をゆだねる、最高です。大会はぜひ風光明媚な私の好きな山の近くにして下さい。  
\*「アラウンド55」は、50代の会員が、近況やいまの思いを自由に綴るエッセイコーナーです。

（全障研新潟支部）